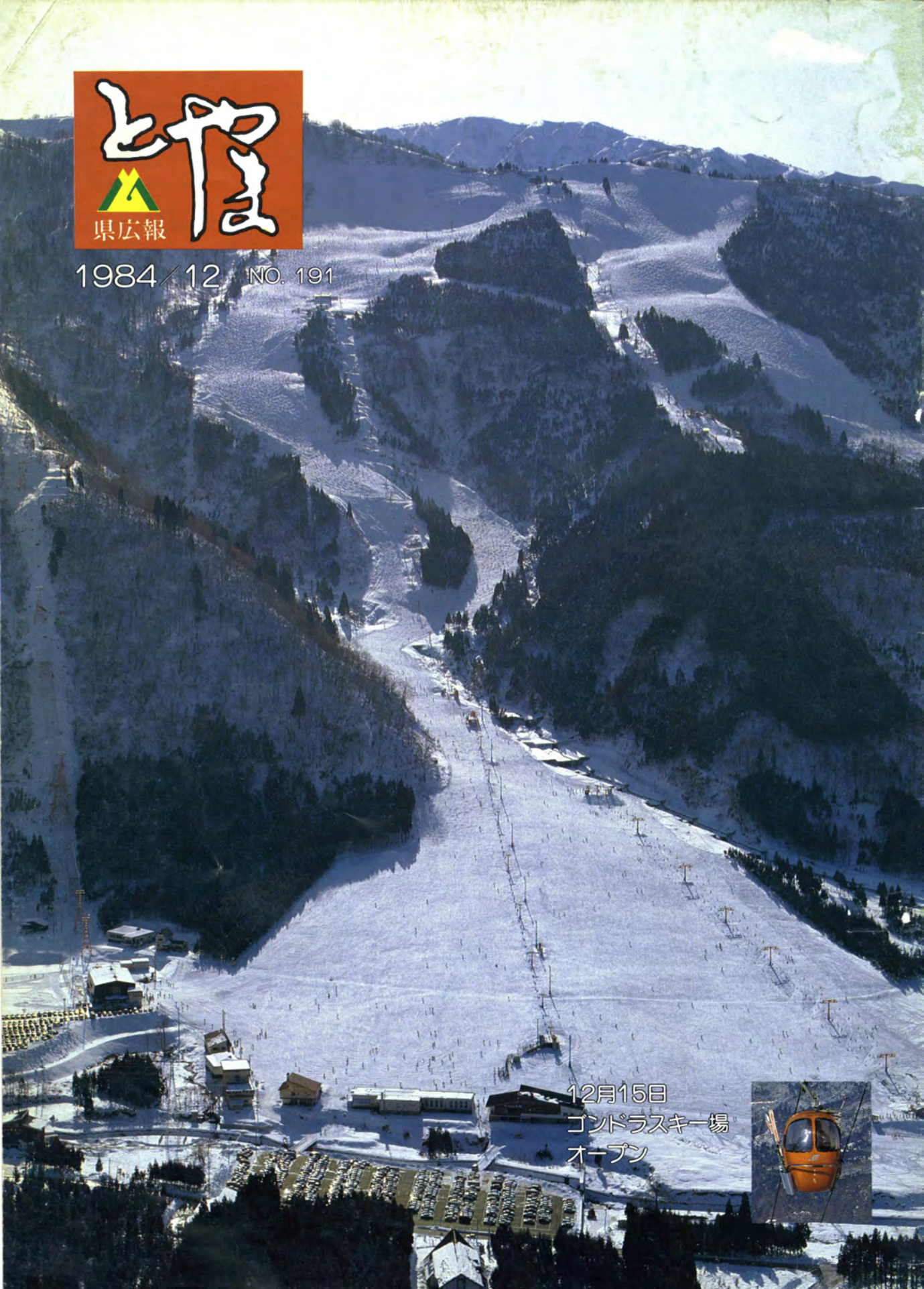




1984 / 12 NO. 191



12月15日  
ゴンドラスキー場  
オープン



# あなたのふるさと

## — 上市町馬場島 —



▲白萩川から剣岳を望む

馬場島は冬の剣岳の表玄関です。早月川の上流、立山川と白萩川の合流地点にあって、近くには剣岳を真近に望める中山

間、上市警察署の派出所が設

自然散策遊歩道が整備されており、春から秋にかけては、ハイカーやキャンパーでにぎわいます。アプローチが長く峻険で、北陸特有のドカ雪に見舞われる冬の剣岳は、日本で最も厳しい山岳条件となります。このことからアルピニストの憧れの山となり、毎冬、約六十パーティ、三百六十名ほどが入山しています。ところで馬場島には登山者の安全を守るため、十二月から半年間、上市警察署の派出所が設

けられ、八名の山岳警備隊員が常駐しています。冬山や登山者に関する情報の伝達収集と安全指導を行うとともに、万一の場合には遭難者の救助活動にあたっています。特にラッシュとなる年末年始には、標高二千二百以上の伝蔵小屋に前進基地を作り、隊員二名を駐留させて警戒にあたります。登山者の皆さんには次の事項を守っていただき、今冬こそ悲劇のない楽しい冬山にしたいものです。

### 〈登山届の励行〉

県登山届出条例により剣岳を中心とする山域は、十二月一日から翌年五月十五日まで県に登山届を提出することになっています。その他の山岳についても登山届は、基本的マナーです。

### 〈装備、食糧の十分な準備〉

冬の季節風でヒマラヤより厳しい気象条件となることがあります。ドカ雪に耐え、それを克服



▲早月尾根を行く警備隊

できる万全の準備が必要です。〈余裕のある日程、行動〉

十分な予備日数で入山し、地形や雪、天候を見極め、より安全なルートを取り、必要な箇所では確実にアンザイレン、フィックスをして行動しましょう。

### 〈リーダーの責任と保険加入〉

リーダーにはパーティ全員の生命を預かる重い責任があります。冬山は特に慎重な判断と行動が要求されます。又、万一に備え、保険に加入しましょう。

このコーナーでは、読者のみなさんのふるさとを紹介した写真と原稿をおまわしています。ふるってご応募ください。● 送付先 〒930富山市新総曲輪一番七号 県広報課「あなたのふるさと わたしのふるさと」係



# 夢は「おさかな銀行」



## とやま賞受賞の酒井光雄さん

置県百年記念財団が、将来の富山県を担う有為な人材の育成に資する目的で創設した「とやま賞」、第一回贈呈式がこの程行われました。

発明部門の受賞者は、酒井光雄さん。家業の漁業に従事する傍ら、定置網漁法をハード及びソフトの両面から見直して、新しい定置網を開発しました。

水産業は、魚資源の減少、食生活の変化、従事者の高齢化、後継者不足など、多くの難問に直面し、今、転換期にあります。水産業に明るい展望を見ようとする酒井さんは、利益率のよい定置網に着目しました。しかし従来のものでは、大量の魚が入ったときすぐに水揚げしなければ多くが死滅し、資源を有効に活用できません。

酒井さんはまず、潮や波、地形の状態、魚の生態を調査し、昔からの伝承や漁法を分析・検討しました。それをもとに研究、実験を重ねて完成した定置網は、

魚を生きたまま数カ月も保存でき、また人手も少なくすむという画期的なもの。

特許も得たこの網は、国内のみならず海外からも注目され、東南アジアを中心に多くの技術者が訪れ、研修を受けています。限りある資源を子孫まで残しながらルールを守って獲ろう、ハイトクを活用して合理化しよう、ニューメディアで必要な情報の収集伝達をしよう、食糧難で苦しむ国々を漁業技術指導で援助したい。酒井さんの夢は大きい。

「おさかな銀行を構想中です。バイオテクノロジー技術駆使して魚を生きたまま備蓄する銀行を全国津々浦々に作る。そしてオンラインで結び、需要に応じて新鮮な魚を各地に出荷するんです。消費者のためにも魚の健全性を高める魚医も養成したいですね。」

とやま賞の奨励金は、後継者の育成に使うそうです。

12月号	クローズアップ	国際化時代に対応して(国際センター)	20
●	夢はおさかな銀行	さらに充実 文化の拠点	21
も	みんなのあつい想いを集めて	豊かなむらづくりのために	22
く	チャレンジ自主制作	自立と社会参加を求めて	23
じ	活カある富山県づくり[4]58.11~59.11	くらしの情報コーナー	24・25
	TOYAMA JUST NOW	トピックス	26・27
	電照菊	お知らせ	28
	理想の雪国について考えてみませんか	特産王国とやま 八尾の和紙	表3



# みんなのあつい想いを集めて

— '84つくしのコンサート —

「同じ空の下、同じ土の上に生きる仲間たち、集まれ!!」と、十月二十八日(日)「84つくしのコンサート」が県民会館大ホールで開催されました。

このコンサートは、身体にハンディキャップを持つ人達の、日頃の生活の中で感じた想いを綴った詩にメロディを添えて発表するもので、今年で十年、第六回目を迎えました。

五月初旬から募集開始、五十一名の人達から百十一編にも及ぶ詩が寄せられました。その中から十二編を選び、若者達が曲をつけました。

自分の足を歩けるようにしてくれた補装具に感謝する気持ちを明るく表現した「そうぐくん」は、石倉奈

央子ちゃん(十才)の作品。松永真由美さん(二十二才)は、「友達といっしょ」で初めて家族以外の人、友達と外出した感激を綴りました。

「筋ジスは私の身体を弓なりにしてそれはまるで風にあぐらむ船の帆のよう」とうたう蔵本順子さん(三十六才)は、筋ジストロフィと戦いながら御主人と二人で車椅子生活者の存在を社会に知らせる活動をしています。

事故で一瞬のうちに手足の自由を失った白石忠邦さん(三十四才)は、力強く一生懸命生きていくことが「たった一つの恩返し」だとうたいました。

発表された十二編は、言葉の一つひとつに心がこもり、聴く人に直接訴えかける力を持っています。

作曲した人、歌った人、マスコットを作った人、そして当日会場で世話をした人、二百名余の運営協力スタッフの全てが、ボランテア。

「生きている 生きている 手足が不自由でも 目が見えなくても、車椅子だからって……」身体にハンディキャップをもつ人達が気楽に飛び込んでいくことのできる社会、彼らを温かく包みこむ社会、そんなふるさと富山にしたいと頑張っています。

なお、つくしのコンサート実行委員会では、来年の企画に向けて皆さんの協力をお待ちしています。連絡先は、〒九三〇富山市西中野町東部三十七 富山ボランテア会議内 つくしのコンサート実行委員会です。



▲手作りの歌、手作りの企画で力をあわせてコンサート



▶ 手話による歌唱指導もありました  
◀ 十年の歩みを展示しました

# チャレンジ・自主制作

二上青少年の家「創造性を考えるつどい」



▲料理ではありません。(蠟型鑄造グループ)



▲みんな真剣です。(版画グループ)

万葉のふるさと二上山の自然に親しみながら、創作活動を通じて創造性豊かな潤いのある生活を考えてみよう、二上青少年の家では開所十五周年記念事業として「創造性を考えるつどい」を開きました。参加者は約百名、皆さん創作意欲にあふれる方々でした。

一泊二日の研修の始まりは、吉崎四郎県生涯学習センターの「模倣と創造」と題した講演でした。具体例を上げながらの「創造力」の養成とその重要性についてのお話は、参加者に大きな示唆を与えるものでした。

講演のあとは、全員で「夕べのつどい」、レクリエーション指導を取り入れて創造力を引き出す楽しいものになりました。

さて夕食もそこそこに、さっそく創作活動が始まりました。思い思いにスケッチの筆を走らせて、制作の構想を練り上げます。

佐竹清氏の指導による木版画グループは、二上山周辺の風景をとらえます。我妻税夫氏の指導による木彫グループは、万葉植物を盆の中に彫り上げます。そして平井昇氏の指導による蠟型鑄造グループは、文鎮や灰皿を制作して高岡伝統工芸を体験します。

指導の三氏は制作の手順を詳しく説明しながら、自らも創作活動に加わり、参加者の創作意欲を高めていきました。

一夜明けて、制作再開。木版画は微妙な刷り具合に苦心します。木彫は細かい彫りに注意が必要です。蠟型鑄造は型取りに工夫が必要です。

いよいよ完成、各自作品を持ち寄って講評を受けましたが、どの顔も皆、手作りの喜びにあふれています。模倣の中から始まった創作ですが、どれ一つとして同じものもなく、個性に満ちた素晴らしい作品が生まれました。創造性は、確実に培われたといえるでしょう。

このエネルギーが波紋のように広がり、新しい活動が生まれることを期待します。

▲マイコン講座も同時開講



▲細かいところが大変(木彫グループ)

昭和58年11月～昭和59年11月の主な出来事

月	日	主な出来事
58年		
11	2	昭和58年度県政功労者等表彰
	8	北陸新幹線小杉～高岡環境アセスメント案公表
	15	小杉流通事業団地の立地申込み始まる
	25	富山テクノポリス開発計画提出
	28	第1回県科学技術会議
	29	入善町知事と語るつどい、まちまわり
12	6	第1回高度情報システム研究会
		国道8号線バイパス水橋～金泉寺開通
	9	県総合雪対策研究会議報告書提出
	13	北陸自動車道朝日～滑川開通
	14	置県百年記念公開シンポジウム「21世紀をめざす無雪雪まちづくり」開催
	16	県産大豆反収3年連続日本一
16～24		12月定例県議会開会
	21	第1回県高校生海外派遣
59年		
1	17	松下電子、魚津市に進出
	20	神岡鉄道(株)創立総会
	21	福祉の店オープン
		太閤山ランドにファミリースポーツプラザオープン
	27	北陸新幹線小杉～高岡環境アセスメント案に対する知事の意見書提出
29～31		第34回高松宮賜杯中部中部日本スキー大会 富山県優勝
2	9	中国遼寧者実務協議団来県
	10	59雪害対策本部設置(～3/23)
	16	(財)富山県スポーツ振興財団設立
	17	特産王国づくり事業推進計画決定
	18	単位価格表示に関する県基準設定
	20	富山県行財政改革検討委員会改善報告書提出
	29	2月定例県議会開会(3/23)
3	1	イメージディレクター制度発足
	7	県工業技術センター起工式
	10	国道304号五箇山トンネル開通
	14	富山空港、空港ターミナルビル、県道富山空港線完成
	17	富山中部スーパー農道新保大橋完成
	18	富山新空港開港、ジェット機就航
	24	富山テクノポリス開発計画、通産省の承認
	26	置県百年記念財団発足
		県沿岸漁業振興公社設立
4	10	城端町、井口村で知事と語るつどいまちまわり
	11	婦中町、山田村で知事と語るつどいまちまわり
	19	立山町で知事と語るつどいまちまわり
	23	富山エフエム放送(株)発足
	24	「日本一の県づくり」の特別指導者5人選任
	25	いきいき富山観光キャンペーン'84スタート
	26	県青年の翼オーストラリア、マレーシアに派遣
	27	エスエス製薬新港工業用地に進出
5	9	中国遼寧省と富山県の友好県省締結
	11	第35回富山県植樹祭、黒部市嘉例沢森林公園で実施

※9ページに続く



中国遼寧省と友好県省締結(59.5.9)



高志リハビリテーション病院開院(59.10.1)



総合体育センター竣工(59.5.31)

富山テクノポリス計画承認(59.3.24)



富山～東京にジェット機就航(59.3.18)



# 活力ある富山県づくりをめぐって

4  
58.11  
59.11

昭和五十九年、富山県は、新しい世紀の歩みを始めました。新たな気流が生まれ、新たな鼓動が脈打っています。激動と混迷の時代といわれる今日、私達の生活を取り巻く環境は大きく変化してきており、このようなときこそ創意と実行力をもって果敢に行動することが必要です。また県政の運営についても、効率のよい、そして県民の皆さんにわかりやすい、先見性に満ちた計画的な県政を展開することが求められます。

県ではこの一年、県民総合計画を基本として、「明日を拓く人づくり」、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」の三大政策を柱に、「活力あふれ、温かい心に満ちた美しいふるさと」の実現に向けて、県民の皆さんの理解と協力を得ながら、着実に施策を進めてきました。

月	日	主な出来事
5	14	文化的環境づくり委員会昭和59年度事業決定
	18	富山市で一日行革審開催
21~24		前アメリカ大統領ジミー・カーター氏来県
24・25		OECD工業委員会、富山テクノポリス視察
25		大沢野町で知事と語るつどい、まちまわり
27		県婦人の翼ヨーロッパに派遣
30		イメージディレクター懇談会開催
31		県総合体育センター竣工
6	5	小杉町・下村で知事と語るつどい、まちまわり
	9	第39回県展開催
	16	熊野川ダム竣工
	18	6月定例会議開催(～29日)
7	2	県と公害防止事業団との間で富山空港周辺緩衝緑地帯造成事業に関する調印
	5	魚津市で知事と語るつどい、まちまわり
	6	県出先機関20カ所での1日所長の実施
	9	中国遼寧省へ答礼団派遣
	10	中国遼寧省から農業技術研修員(～10/8)
	21	富山～東京にB767型機就航
	23	第1回総合雪対策推進会議
	24	青年の翼(農業部門)アメリカに派遣(～8/10)
	31	砺波市で知事と語るつどい、まちまわり
8	2	中国遼寧省からマーロー致着
	11	第37回県民体育大会夏季大会開催(～8/13)
	18	中国遼寧省からスポーツ交流団来県
	22	グリーンプランまとまる
	23	高岡市で知事と語るつどい、まちまわり
9	1	中央病院和漢診療開始
	4	高岡市で県総合防災訓練
		第1回緑化推進県民会議開催
5・6		富山市で知事と語るつどい、まちまわり
	6	バイオテクノロジーシンポジウム開催
	11	9月定例会議開催(～9/27)
	19	松代電子、八尾中核工業団地に進出
	28	高志リハビリテーション病院竣工
	29	国立立山少年自然の家開所
10	1	神岡鉄道開業
	2	第1回身体障害者雇用施設等検討委員会
	2	中国遼寧省から自動車技術者研修(～10/9)
	3	県薬事研究所起工
	5	第1回とやま賞贈呈
	6	中国遼寧省人民代表大会代表団来県
		常願寺川公園開園
	8	県知事選挙告示
	15	県民センター起工
		県鳥獣保護センター開所
	17	情報教育センター竣工
	18	八尾中核工業団地に富士通進出決定
20・21		第1回特産王国フェスティバル開催
	23	大門、大島地域新設高校起工式
	28	県知事選挙、中沖氏再選
11	2	昭和59年度県政功労者表彰
		ソビエトからコンテナ定期便第1船到着
	6	富山技術交流センター起工式
	19	第1回21世紀の博物館を描く懇談会
	27	とやま国際センターオープン



▲婦人の力を社会へ



公共工事に文化性を導入▶



▲県民のスポーツ熱が高まって

▶衛生Gメンが活躍しています



県立技術短大に情報教育センターを設置

# ひら 明日を拓く 人づくり

## 健康づくり

日本一の健康とスポーツの県を目指して「自分の健康は生活のなかで自分がつくる」ことを基本に、健民運動を展開するとともに、スポーツ・レクリエーションの振興を図りました。総合体育センターをはじめ、県民の皆さんが気軽に利用できる施設の整備充実を行っています。

また高志リハビリテーション病院の開院、中央病院の和漢診療の開始など、医療の充実も図りました。

## 社会福祉の充実

在宅福祉メニューを拡大し、また高齢者福祉の充実を図りました。

障害者福祉については、雇用の拡大促進、心身障害児の早期治療・療育体制の充実を行いました。

## 生涯学習の推進

一生を通じての学習活動に対するニーズの高まりから、県民大学校を拡充するなど、生涯教育メニューを増や

しました。また県民センターの建設など、自主的な社会教育・文化活動の基盤整備を行っています。

学校教育については、教育環境の充実を図るとともに、新時代に対応した特色ある教育を展開しています。

国立高岡短期大学の昭和六十一年学生受入れに向けての整備充実について支援しているほか、新世紀にふさわしい高等教育機関の整備について検討を進めています。また情報教育センターを設置し、県民に開かれたコンピュータ教育を行っています。

## 文化の県づくり

心のやすらぎや潤いを求めて、県のいろいろな施設に文化性を導入するなど、文化的環境を整備しました。

また県民の自主的な文化活動への支援、博物館構想の検討など、文化に対する県民のニーズにこたえています。

## 若者と婦人の力を社会に

青少年の健全育成と社会参加のための各事業を進めています。また「婦人の明日をひらく富山県行動計画」に基づき、婦人の潜在的エネルギーを発揮できる条件整備を行っています。



▲カーター前米大統領が訪問

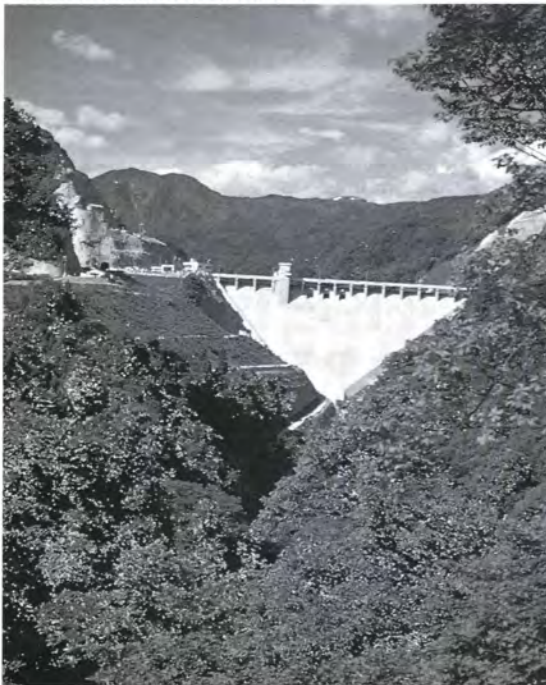


▼総合雪対策研究会議の報告書提出



▲第3セクターの神岡鉄道もスタート

▼河川の総合開発も進んでいます



ナチュラルリスト活動は高い評価を受けています

北陸新幹線  
▼環境アセスメント提出



行政と住民が一体となって雪を克服



▼親しまれる警察を目指して



特別指導者に北村文雄氏を花と緑の



▲ジェット機は日本一の塔乗率

# 魅力ある郷土づくり

心ふれあう快適な暮らしの実現

県土美化の推進のため県民総ぐるみの運動を強力に展開しました。またグリーンプランをまとめ、日本一の花と緑の県をめざしています。

また消費生活の安定向上を図るとともに、防災・防犯体制を強化しました。

## 魅力ある地域づくり

豊かな自然に恵まれた本県の特性を生かし潤いのある豊かな

魅力ある地域づくりを進めています。

る施策を行っています。

## 総合交通体系の整備

北陸新幹線については、環境影響評価書の提出や着工準備作業所の開設など、着工に向けて着実な歩みを続けています。

また個性ある魅力的なまちづくりのための助成、農山村の生活環境の改善も進めています。五六豪雪の教訓を生かし、雪に強い県づくりを促進するため、総合雪対策推進会議を設置し雪を克服・活用・親しむことについて積極的に取り組んでいます。また行政と住民が一体となって地域ぐるみの除排雪を推進しています。

## 生活基盤の充実

快適な生活を営むため、住宅や上下水道など生活基盤の整備、充実を図っています。小矢部川流域下水道の整備が、昭和六十二年の一部処理開始に向けて工事が進んでいます。

ねいの里に鳥獣保護センターが完成、またナチュラルリストの新規養成を行うなど、自然保護にも力をつくしています。

河川、海岸の保全を積極的に進め、河川総合開発事業にも取り組むなど、県民の命と財産を守る

## 国際化への対応

五月九日、中国遼寧省と友好県省を締結しましたが、これを機に、多方面での活発な交流が期待されています。

また国際化時代に対応して、とやま国際センターが設立され、人材、情報、物などの交流を促進していきます。

# 活力ある産業づくり

## 技術立県

日本一の科学と文化の県づくりを目指して、創造性豊かな人材を育てるとともに、技術革新に対応する環境を整備しています。

産、官、学共同での研究体制を進めるほか、工業技術センターや薬事研究所を建設するなど試験研究機関の拡充を行っています。

## 創造性豊かな工業の育成

三月二十四日、富山テクノポリス計画が国の承認を受け、この計画を核とした高度技術を集積した産業の立地、育成、振興を図っています。八尾中核工業団地を中心に優秀な企業が次々と進出を始めています。

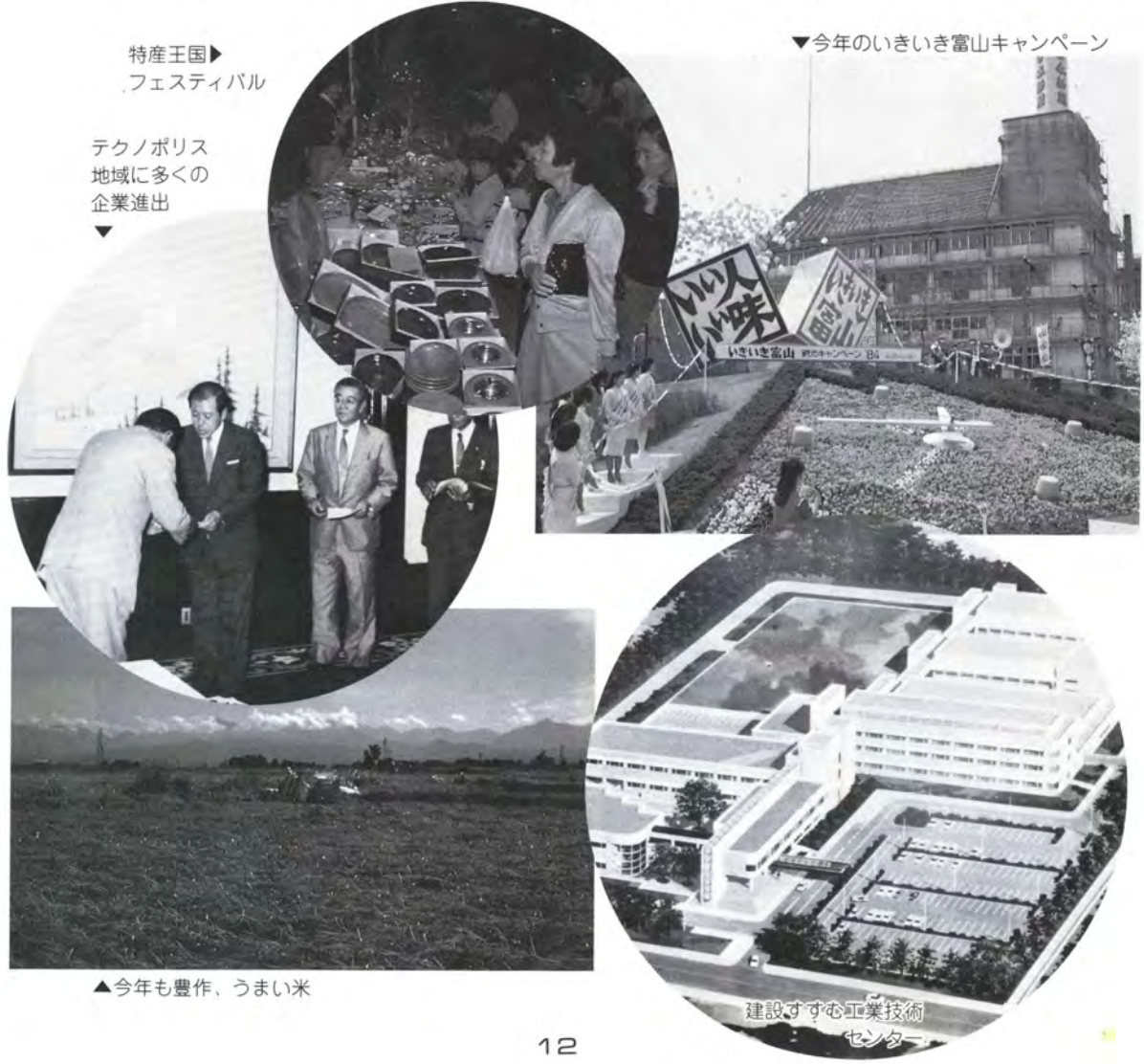
## 第三次産業の振興

「いい人、いい味、いきいき富山」観光キャンペーンを今年も展開し、観光とやまのイメージアップを図りました。

また商店街の活性化と地域商業の近代化を進めるため、各種の助成策を行っています。

## 農林水産業の振興

たくましい農林水産業の展開のために、活力ある人づくり、豊かなものづくり、潤いのあるむらづくりを展開するとともに、全国に誇れる特産王国づくりを推進しています。



特産王国  
フェスティバル

テクノポリス  
地域に多くの  
企業進出

▼今年のいきいき富山キャンペーン

▲今年も豊作、うまい米

建設すずの工業技術  
センター

## 雇用の安定

中高年の雇用の安定確保を図るほか、職業訓練の充実も行って

ています。  
また勤労者の福利厚生の上にも努めています。

# 開かれた県政の展開

▲各地で知事と語るつどい

県民に開かれた、県民本位の県政を目指して、できる限り多くの県民の皆さんの意見や要望を反映しようと、県政バス教室、知事と語るつどい、一日所長など多くの事業を行いました。なお情報公開制度については、昭和六十三年の実施に向けて、準備を進めています。

また全国に誇れる日本一のおもしろさづくりはまず富山県のイメージアップを図ることからと、県ゆかりの著名人をイメージディレクターに委嘱していろいろな素晴らしい知恵をお借りしています。



著名人の知恵を拝借



▶ハイテクを集めて近代工業機械展



1日所長で意見をききました



## 福野の電照菊

師走、木枯しの季節です。新しい年、昭和六十年に向けての準備も各地で始まっています。

さて菊の里福野町では、正月用切花菊栽培の一番忙しいシーズンに入りました。

菊は、一般に昼の長さが夜より短かくなるとツボミを付け、やがて開花する「短日花」です。自然の状態では、十月頃が花の盛りです。

ですから正月用切花にするために、ピニールハウスに定植し、八月下旬から夕方になると電灯を付けて、人工的に夏の状態を保持してやります。こうやって栽培された菊を、「電照菊」と呼んでいます。

自然の菊が開花する十月に消灯し夜を長くしてやりますと、花芽が分化し、蕾はゆつくりとふくらんでいきます。

福野町では現在、十三戸、二畝で電照菊が栽培されています。約三十五万本が、富山や高岡の市場に出荷されていますが、これからが最盛期。

お正月には、冬の寒さを忘れさせる福野町特産の電照菊をどうぞ。

# 理想の雪国について 考えてみませんか



## 考えてみませんか 十年後、二十年後の 富山の冬を

—雪のつきあい方も

時代とともに変わります—

私たちのふるさと富山県では、古くから村ぐるみの雪踏みや除雪、家屋の雪囲い、食料の保存など雪の中の生活に知恵や工夫をこらして、雪のもつ自然の力に耐えてきました。

しかし、今では、私たちが生活し、活動する範囲は、昔に比べずいっと広がっています。冬でも他の季節と同じように通勤、通学し、商品を作り、物を運び、文化的な催し、娯楽やスポーツを楽しむ社会となっています。

このような時代では、雪に耐えるだけでは、私たちの快適な生活は保てなくなってきました。

す。

そのため、機械で道路の除雪をしたり、道路の雪をとかしたり、雪に強い家をつくったり、いろいろなきめ細かい工夫をするようになってきました。

最近の様子をみても私たちの雪への取り組みは、大きく変わってきています。

除雪用の機械の数を、豪雪の年の昭和三八年と五六年とで比べますと、県道関係で、約五倍と大幅に増え、私たちの生活を守るために役立ちました。

雪を利用したり、楽しむことについてはどうでしょうか。

古くは、雪山をつくり、野菜などを保存していました。また、雪合戦や雪タルムツ（つりなど）で子供たちが遊んでいました。今は、昔に比べ、スキーなど

多くの人が雪を楽しむ場が増えてきています。

雪のつきあい方は、時代とともに変わっていきます。

そして、これから先も、私たちの生活のあり方や技術の進歩に伴い、どんどん変化していくことでしょう。

では、十年後、二十年後あるいはもっと遠い将来、富山の冬はどのような姿になっているのでしょうか。

素晴らしい冬を迎えることができるようにするためには、今後、何をすればよいのでしょうか。

みんなで一緒に考えていきたいと思います。

## 理想の雪国を めざそう

—総合的な対策の実施を—

住みやすく、魅力ある富山の冬を実現するためには、長期的な視点から、いろいろな対策を体系的に実施していくことが必

要です。

そして、このような対策を円滑に、効果的に進めていくためには、雪対策の基本的なねらいをはつきりさせたり、また、県など行政機関の責務や主な事業の内容を県民に明らかにすることが必要ではないでしょうか。

このような考えの下に、昨年暮、富山県総合雪対策研究会議から、雪対策の基本となるような条例を検討してはどうかと提言されました。

—条例の考えかた—

県では、この提言を受け、現在、条例案の検討を進めています。

この条例に盛り込んではどうかと考えている内容(試案)は、次のとおりです。

まず、条例のねらいですが、その第一は、雪による県民生活や事業活動への障害を取り除き、県民が雪の中でも生き生きと活動できる生活環境をつくること

です。

第一は、雪を積極的に利用したり、県民が雪に親しむ機会を増やすことによつて、雪のもつプラスの面を県民生活の向上や県の発展に生かすことです。

第二は、雪対策を県民と行政が一体となつて県民総ぐるみで進め、県民の自発的な活動を、行政が支援できる体制をつくることです。

次に、具体的な対策の進め方は、次のように考えています。  
 (1) 雪のもたらす障害を取り除くために、いろいろな面で対策を進めていく必要があります。

一 私たちの街や村そのものを、雪に強いものにつくることがあります。

道路に流雪溝を設けたり、雪に負けない家をつくったり、さらには、都市計画などによつて街や村全体を雪に強くなるようにすることです。

二 雪が降つてもバスや鉄道をきちんと動かすことです。

降積雪時には、交通が渋滞したり、運転が危険になることがあるので、マイカーを自粛することも大切です。

また、雪や交通についての情報をすばやく県民に伝えることも重要です。

三 冬でも私たちが自由に活動できるように、地域を除雪することが大切です。

道路の除雪については、県や市町村などが除雪用の機械などを利用して能率よく除雪していかなければなりません。

また、住民が自主的に行う地域ぐるみの除排雪についても、行政が積極的に支援する体制を整える必要があります。

四 雪による災害に備えるため、予防対策や応急、復旧対策を迅速に進めるようにすることも重要です。

② 雪を利用したり、雪の中で楽しむことについてはどうでしょうか。

一 まず、雪の利用などにみんな

と観光に生かせないでしょうか。

雪のもつ冷熱エネルギーを利用する発電など雪の新しい利用も検討してはどうでしょうか。

③ 雪には、まだまだ未知の分野がたくさんあります。

このため、雪対策を長期にわたつて進めていくためには、調査研究や技術開発の推進に努めなければなりません。



また、雪対策に必要な財政上、金融上の措置を講ずる体制を整えることも重要です。

## ご意見を お寄せください

県は、このような条例を基本にして、市町村や県民の皆さんと一緒に、雪の中でもいきいきと生活できる素晴らしい県をつくるため、具体的な対策

を一步一步着実に進めていきたいと思つています。

県民みんなが知恵と力を寄せあつて雪対策に取り組めば「雪国」という言葉から、暗いイメージはなくなり、真に、住みやすく、情緒のあるふるさとが実現できると思ひます。

雪対策についてのアイデアや、現在検討している雪対策に関する条例に盛り込むべき内容などについて、来年一月十日頃までに意見、ご提案を左記までお寄せ下さい。お待ちしております。

〒930 富山市新総曲輪一番  
 七号 富山県庁知事公室 雪対策  
 担当あて。



# 国際化時代に対応して

## 当面の事業

財団法人とやま国際センターが誕生しました。

## 財団の概要

設立の目的を達成するために当面、次の事業を行います。

- (1) 情報サービス
  - 富山県の産業や観光の案内、外国人のためのカウンセリング、図書やビデオによる海外情勢の紹介、通訳、翻訳ボランティアの登録・紹介、ホームステイ家庭の登録・紹介など。
- (2) 交流活動の促進
  - 国際交流団体との連絡・調整、国際交流サロンの提供、国際交流団体に対する会議室の提供、各種交流活動の後援など。
- (3) 研修
  - 日本語講座、実用英語講座、海外セミナーなど。
- (4) 行事開催の誘致
  - 国際事情講習会の開催、国際会議の誘致・開催、国際的なイベントの誘致。
- (5) 出版
  - 機関紙の発行、図書・パンフレットの発行。
- (6) 受託
  - 翻訳、通訳、カタログ・ビデオの作成など。



交通、通信手段の飛躍的発達で地球はグリーンと小さくなりました。人、物、エネルギー、情報、様々なものが活発に国と国の間を交流しています。富山県でも、自治体の姉妹都市提携を軸とした交流や、民間団体を中心とした産業・文化交流活動が、ますます盛んになっていきます。特に近年、財貨、サービス等の貿易量の大幅な増加など、経済活動の国際化の進展には目覚ましいものがあります。

このような動きを背景にして、最近、国際交流の拠点となる「国際交流センター」設置の気運がたかまり、今年九月末、各界の代表者からなるセンターの発起人会が開催されました。

そしてこの十一月二十七日、

## 県民センター着工

県西部の文化・社会教育活動の拠点施設として、富山県民センターが高岡市中川園町（富山大学工学部跡地）に着工されました。

二十一世紀に向けての「文化の県づくり」の中核となる、地域の皆さんに親しまれ、くつろぎを感じる魅力的な施設にしたいと考えています。

鉄筋コンクリート造、地下一階地上四階、延床面積約八千平方メートルの県民センターは、幅広い年齢層の方に多目的に御利用いただけるよう、設備面の工夫がされています。

### 〈中ホール〉

音楽、演劇、会議等、目的に応じて水準の高い機能を発揮するホールです。建築的空間性、音響的性能及び照明的操作性を重視します。座席数は七〇六席。

### 〈大集会室〉

各種の講演会、美術展、研修会等、多目的な利用に対応できます。T字型のせり舞台、音響

# さらに充実 文化の拠点

照明設備、展示パネル等、施設設備面で配慮しています。

### 〈リハーサル室・練習室〉

ホールとは独立して、音楽、演劇等のリハーサル、練習ができる遮音、吸音に配慮した空間です。

### 〈研修室〉

各種講座、学習会に利用できます。

### 〈教材製作室〉

映画、ビデオ、スライドなど視覚的手法による教材の企画、製作、編集のための施設です。

### 〈視聴覚室〉

ビデオ、八ミリ映写等、視聴覚的手法による研修のできる施設です。

### 〈情報資料室〉

視聴覚教材、図書資料による情報提供及び学習相談を行います。

なおオープンは昭和六十一年十月の予定です。

## 県民会館改装

富山県民会館では、今春の改

修工事に引き続き、十二月中旬から約半年間にわたり、地階から四階までの改修工事を実施します。今回の工事は、一階部分を含み、担当の規模となりますので、安全確保のため全館休館にすることになりました。(十二月中旬～五月末) 休館中は、何かとご迷惑をおかけすることになりますが、何とぞよろしくご協力いただきますようお願い申し上げます。

同時通訳設備等の情報機器を備えた大会議室を中心に、小、中会議室、広いラウンジ等を有機的に配置します。講演会、シンポジウム、学会、さらには国際レベルの会議が開催できます。

一階に美術館、二階にギャラリーを設置し、可動展示パネル、照明設備などを充実、多彩な展示空間を活用できるようにします。

地下展示室の改善  
県民ロビーから直接出入りできる階段を付設して県民ロビーとの一体化を図るとともに、エレベーターを設けて利用しやすくします。

### 〈防災改修〉

天井・壁面等の不燃化工事を行うとともに、防災センターを一階に設置し、集中管理体制による災害の未然防止、発見通報、延焼防止等の機能充実を図ります。

### 〈施設内容の充実〉

県民ロビーの設備  
県民の憩いの場として、一階にゆとりの空間を設けます。ここからホール、地下展示室等に通じるよう工夫いたします。

練習室（ホール）の設置  
舞台のリハーサル、サークル活動の練習ができる室をホール北側に新設いたします。

三階は会議専用空間にします。映写機、ビデオプロジェクター、会議フロアの整備  
なお、改修後の施設のご利用については、従来通り申し込みを受け付けておりますので、詳しくは富山県民会館業務課までお問い合わせください。(☎〇七六四(三)三二二)

# 自立と社会参加を求めて

身体障害者福祉法が改正されました。

今回の改正は、国際障害者年（昭和五十六年）を契機として障害者問題に対する関心と理解の高まりを背景に、身体障害者の皆さんの一層の福祉の充実を図るものです。

十月一日から実施されています。

## 「完全参加と平等」の理念

国際障害者年のテーマであり、政府の障害者に関する長期計画等の目標でもある、「完全参加と平等」の理念が盛り込まれました。

これは、障害が単に障害者やその周囲の人々の個人的問題ではなく、私たちの社会全般にかかる基本的な問題としてとらえていこうとするものです。「すべての障害をもつ人々は、一人ひとりの人間として人格が尊敬され、その自立は社会全体の発展に寄与する。」という考え方を示しています。

具体的には、「身体の障害を可能な限り軽減除去し、その自立生活のために必要な援助を行うとともに、社会への完全参加を実現するための条件を整えること。」を明らかにしたことです。

## 身体障害者の範囲拡大

「ぼうこう又は直腸の機能に障害があり日常生活に著しい制限のある方」が、新たに身体障害者として認定されることになりました。

1級	ぼうこう又は直腸の機能の障害により自己の身の日常生活活動が極度に制限されるもの
3級	ぼうこう又は直腸の機能の障害により家庭内での日常生活活動が著しく制限されるもの
4級	ぼうこう又は直腸の機能の障害により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの

# 豊かなむらづくりのために

富山県は、おいしい米の供給基地として、また花卉、野菜、豆類など多種多様な作物の生産地として全国的にも有名です。

その豊かな農業を二十一世紀にむけてさらにたくましく育てようと、県では様々な施策を行っています。米、麦等の土地利用型農業の生産性向上のための優良農地の高度利用推進もその一つです。

## 地域農業振興は土地の有効利用から

皆さんのむらの中では、転作問題も含めて農地をどのように活用していくか、むらの農業の振興をどう進めていくか、大きな課題になっていませんか。

兼業の方が忙しい、あるいは高齢で農業後継者がいないなど、せっかくの優良農地が十分に活用されていないとか、農業機械は十分保有しているが経営規模が拡大できないため

生産性が低い農家がありませんか。「先祖伝来の農地を手離したくないが、貸借期間が満了したときに確実に戻るなら貸しても良い」とか「もっと農地を借りて規模を拡大し、農業を中心にやっていきたい」という人も多いと思います。

こんな場合、簡単な手続で安心して農地の貸し借りができる制度があります。

## 制度のあらまし

農用地利用増進法に基づいた利用権設定等促進事業による農地の貸し借り制度がそれです。

この制度を利用しますと絵のとおり簡単な権利関係が設定され、約束の期限がくれば、離作料等を支払うことなく、確実に返してもらえます。さらには、基準さえ満たせば農地の貸し手に対して十アール当たり最高三万円の農地流動化奨励金が交付さ

れます。

この有利な制度を利用され、地域におけるお互いの役割を分担して、みんなで活力にあふれたむらづくりを進めてみませんか。

この制度については、最寄りの農地流動化推進員がいつでも相談に応じています。

なお、身近に農地の貸し借りをする相手がいない場合等には、市町村

農業委員会が行なう「農地移動適正化あっせん事業」や富山県農地開発公社が行なう「農地保有合理化促進事業」を利用することもできます。詳しいことは、各市町村の農業委員会、富山県農地開発公社（☎〇七六四（四）二六一六六）又は県庁農政課農地調整係（☎〇七六四（三）四一一一）まで御相談下さい。

種目	名称	基本構造	耐用品	価格	耐用年数	備考
ストマ用器具	蓄便袋	低刺激性の粘着剤を使用した密封型又は下閉開放型の収納袋とする。ラテックス製又はプラスチックフィルム製	皮膚保護剤	7,100	—	価格は皮膚保護剤を別とすること。
	蓄尿袋	低刺激性の粘着剤を使用した密封型又は下閉開放型の収納袋で尿処理用のキャップ付とする。ラテックス製又はプラスチックフィルム製	皮膚保護剤	9,300	—	上と同じ

(2)補装具の給付  
この障害による身体障害者手帳をお持ちの方は、次の補装具の給付を受けることができます。

- (1)手続き  
身体障害者手帳の申請には、  
①「身体障害者手帳交付申請書」  
②指定医師の記載した「診断書」  
などが必要です。

手続きについて詳しくは、社会福祉事務所、県庁障害福祉課、または最寄りの各町村身体障害者福祉担当課へお問い合わせください。

(2)補装具の給付

(3)脳原性運動機能障害  
判定方法が変わりました。障害の状況や年齢によって異なりますが、主として生活関連動作（紐むすびテスト、五動作テスト、移動動作）によって判定されます。

(4)二つ以上の障害が重複する場合  
加算により等級が変わる場合があります。例えば先天性の聴覚障害二級と音声、言語機能の喪失の障害が複するときは、一級となります。

障害の判定について詳しくは、各社会福祉事務所または、身体障害者更生相談所（〒九三〇 富山市石金六十、☎〇七六四（二）一一六一）へ、お問い合わせください。

## 身体障害者の判定方法の一部変更

(1)そしゃく機能障害

## 安心できる農地の貸し借り



# 健康メモ

## ひとくち

### 高血圧

気象台が発表した北陸地方の寒候期予報によりますと、この冬は前半は寒い日が多く、降雪量も多くなる恐れがあるそうです。

冬は脳卒中多発の季節です。高血圧症の人は、特に注意が必要です。ところで最大血圧百六十ミリ以上、または最小血圧九十五ミリ以上を高血圧の基準にしています。血圧には個人差があり、また同じ人でも身体の調子などで変動します。高血圧症の予防は、まず何回か日を変えて血圧を計り、自分の血圧を知ることから始まります。

高血圧を予防し、また高血圧の人は悪化させないように、日頃から次の

ことに注意しましょう。

- (1) 減塩を心がけましょう。漬物や味噌汁は、取りすぎないように。
  - (2) 野菜、果物、海藻類を十分に、脂肪分の少ない肉、魚、乳製品、豆類も適量にとりましょう。
  - (3) 酒やタバコは、ひかえ目に。
  - (4) 肥満は大敵、でんぷんや糖分は取りすぎないように注意しましょう。
  - (5) 便通は規則正しく。
  - (6) 気持ちにゆとりをもつて、精神の安定を保ちましょう。
  - (7) 過労にならないよう、睡眠や休息は十分にとりましょう。
  - (8) 寒さや冷えに注意しましょう。便所や脱衣場に、暖房を。
  - (9) 熱い風呂や長湯は禁物です。また冷えた身体での入浴は高血圧の人に危険です。
- ⑩ 高血圧の人は、ときどき診察をうけること。治療は、かつてに中止しないこと。
- 健康は他から与えられるものではなく、自分の意志と努力で勝ち取るものです。



▲かあちゃんたちの傑作です

### 入善町の新しい特産物

#### 「のじゅう漬け」はいかが

「ふるさとの味」といったら、何を思い浮かべますか。今の季節ならやっぱり「漬物」が一番なのではないでしょうか。

ここ入善町の山手、野中地区では「のじゅう漬け」の生産に大わらわです。大根をこうじ漬けにして売り出すこと四年、今では町の新しい特産物として大きく成長しました。

生産者は、いずれも農業の主婦ばかりで、総勢八名。「かあちゃんたちが余暇を利用して

### まちからむらから

そんなことから初め三千本だったものが年々増えて、今年は二万本を目標に、毎日奮闘しています。

十月末の県特産王国フェスティバル、十一月の東京で行われた富山県観光と物産展にも出品。無添加、減塩の健康食品として評価も高く、ゆくゆくは「富山県一の漬物」として脚光を浴びるのも、そう遠くないのでは……。問い合わせは、野中婦人農産加工組合(☎〇七六五(七八)二一八二)へ。

### 冬野菜

白菜、大根、<sup>ゴボウ</sup>午旁、<sup>ニンジ</sup>人参、<sup>ネギ</sup>ねぎ、<sup>カボチャ</sup>馬鈴薯……。これらは冬野菜とも呼ばれます。かつては青果物のなくなる冬の大切な越冬物資でした。

特に、雪にとじこめられる富山では、冬野菜の貯蔵が主婦の大切な晩秋の仕事でした。寒風の中、洗って干したり、漬物をしこんだり、砂に埋めたり、春まで安心して暮らせるよう工夫をこらしたものです。そして一家団らんの食卓は、冬野菜を使った漬物やお惣菜でにぎわいました。

ところでこの頃は、雪の日でも近くのスーパーマーケットや八百屋さんに行きさえすれば、冬野菜のみならずトマトやキウリなど夏野菜も買うことができます。苦勞して野菜を貯蔵しておかなくても、すぐ手に入る世の中です。

### とやま旬の味

でも雪の降る前の地元産が出まわる頃に、一冬必要な量をまとめ買いして、貯蔵してみませんか。大雪に

なつたときの不安がありませんし、価格も安いので経済的です。またお年寄りに教わって、手作りの漬物や郷土料理にも挑戦してみましよう。あなたの工夫で家族にコミュニケーションが生まれ、一層豊かに楽しく暮せます。

#### 《冬野菜の貯蔵法》

白菜Ⅱ一個ずつ新聞でくるんで、暗い涼しい所に置く。  
大根、ねぎ、午旁、人参Ⅱ砂に入れる、または白菜と同じ。  
玉ねぎⅡ古いストッキングや網に入れて、風通しのよい所に下げる。  
馬鈴薯Ⅱ暗い涼しい所に置く。  
なおいずれの場合も、ビニール袋に入れておくと腐敗しますから、かならず出してください。

このくらしの情報コーナーでは、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています。原稿の送り先は

〒九三〇 富山市新総曲輪一番七号  
富山県知事公室広報課  
「くらしの情報コーナー」係まで

# 暮らしのメモ

## ひとくち

### クレジット

#### ・カード

クレジット・カードは、サイン一つで買物や食事ができ、しかも支払いは一カ月後だったり、分割払いも可能、また、暗証番号を使って、一定額まではお金も借りられるなど、とても便利です。

しかし、便利さの反面トラブルも増えています。

#### ●使いすぎに注意

手元に現金がなくても買物ができるため、つい使いすぎてしまします。支払いが終了するまでは借金です。家計費全体の借入残高を考え、月々の支払いが月収の二割を超えない範

囲で利用するようにしましょう。また、利用明細書の確認と銀行口座との照合も大切です。

●利用に合わせて手数料をチェック  
キャッシング・サービスは、会社により、金額により、また使途が決まっているかわいなくて手数料が異なりますが、信販系は年率25〜30%、銀行系は15〜20%くらいです。

●紛失したらすぐ届ける  
盗難、紛失した場合にはすぐカード会社と警察へ届けましょう。他人によってカードが不正使用された場合、会員規約にもよりますが、届出日の前後60日までは補償の対象となります。

しかし、損害保険によりカバーされる限度を超えて事故が発生した場合には、カード会社の約款により利用者責任の及ぶことがあります。

10月16日～11月15日

### 10月17日

#### ☒情報化時代の人材養成を

県のコンピュータ教育の中核施設として富山県情報教育センターが、県立技術短期大学の構内に完成しました。(詳しくは、11月号をご覧ください。)

### 10月18日

#### ☒富山の「名水」は?

富山県「名水」等検討委員会が開かれました。県内の名水・おいしい水の選定と共に、水質の保全対策などについても検討します。

委員会は水に造詣の深い専門家15名で構成され、会長は佐々富山医科薬科大学長です。今後、水質検査の結果を踏まえ、利き水、現地調査等を行って、60年度に「とやま名水マップ」を作成することになりました。

#### ☒富士通が八尾中核工業団地に

富山テクノポリス計画の拠点となる富山八尾中核工業団地に、日本のコンピュータトップメーカーである富士通が進出することになり、同社の二宮専務らが県庁を訪れ、県、町、公団との間で協定書を交換しました。

富士通では、昭和62年までに情報機器の製造工場を建設する予定です。

### 10月19日

#### ☒婦人の地位向上へ

国際化時代に対応して、婦人の生き方を考え婦人の資質向上を図ろうと婦人国際交流セミナーが開かれました。メインテーマは「世界の婦人と語ろう」、イタリア、マレーシア、タンザニア、イギリスから女性大臣や研究者も講師として参加し、講演のあと一般参加者と「婦人の学習と社会参加」について意見交換をしました。



知事・初登庁

城山子供会を功労表彰



▲北陸新幹線について陳情

### 10月20～21日

#### ☒2日間で10万人、特産王国国際

自然と技と意欲がつくる特産王国とやまをテーマに、第1回特産王国フェスティバルがテクノホールで開かれました。市価より安く特産品が購入できるとあって、2日間で入場者は10万人にのぼりました。(詳しくは11月号をご覧ください。)

### 10月25日

#### ☒障害を克服して

第25回全国身体障害者スポーツ大会に出場する県選手団38名の結団壮行式が、県庁大ホールで行われました。関係者の壮行・激励に応じて、砲丸投と100m車イス競走に出場する鍋島信一さんが、選手団を代表して謝辞を述べ健闘を誓いました。

### 10月27日

#### ☒日本一の住宅事情維持

昭和58年度住宅統計調査結果が発表されましたが、持ち家率85.7%、1戸建率89.9%、居住室率6.79室(1人当たり)、畳数44.8畳(1世帯)延面積148.3平方メートルといずれも前年より向上し、全て日本一。富山県の住宅事情の良さをアピールしました。

### 10月28日

#### ☒県知事選挙、中沖氏再選

富山県知事選挙の投票が行われ、現職の中沖豊氏が367,679票を獲得し、再選を果たしました。投票率は52.88%で前を上まわり、特に女性の投票率が大きく伸びを示しました。

10月30日には、県庁特別室で当選証書が中田県選挙管理委員長から中

沖氏に手渡されました。

### 11月2日

#### ☒秋の表彰

昭和59年度県政功労者、教育功労者、文化表彰の表彰式が行われました。県政功労者には40年近くボランティア活動を行ってきた大沢野町の池田忠勝さんほか44名7団体が、教育功労者には、夏季国体百回バタフライで連勝した中田佳子さんほか30名12団体、文化表彰では書家の鶴木利雄さんほか1名2団体が表彰されました。

### 11月6日

#### ☒技術交流センター起工

富山テクノポリスの技術情報の拠点となる富山技術交流センターが、県立富山商業高等学校隣接地で起

工しました。センターには技術者や研究者の共同研究の場やソフトウェア開発の場を設け、産・学・官の技術交流の中核的施設となります。

### 11月7日

#### ☒除雪区間は2,151キロ

今冬の道路除雪計画が決まりました。県の除雪区間は延長で2,151キロ、除雪出動の基準は、新たな降雪が10センチ以上あった場合となっています。今年は特に、路面凍結と圧雪対策に重点を置きました。

県民生活の安定を図るため、道路交通の確保は大変重要です。皆さんの理解と協力をお願いします。

### 11月12日

#### ☒克雪、利雪、親雪

県では2月議会提案を目標に、総

合的電対策推進を図る雪対策条例案の作成をすすめています。この程市町村や関係団体との意見交換を行いました。これは、県の試案をもとに各界各層の意見を反映させ、より実効性の高いものをまとめようとするものです。

この会議で県民総ぐるみの克雪、有効に活用する利雪、もっと知って楽しむ親雪という条例の狙いが確認されました。

### 11月14日

#### ☒ふるさとを大きく育てるために

北陸新幹線の早期着工を求めて、中沖知事ら北陸新幹線建設促進同盟約60人が、運輸省などを訪れ陳情を行いました。中沖知事が来年度着工を強く求めたのに対し、山下運輸大臣等はいずれも来年度の予算編成で前向きに取り組む姿勢を示しました。

# お知らせ

## ●「富山県の文化財」発刊

富山県には長い年月をこえ、息づいている数々の文化財があります。その中から国・県指定のもの241件を紹介した図録を発行しました。先人たちの芳醇な芸術を、いま、訪ねてみませんか。

- (1)規格 A5判 276ページ 写真282点(カラー)
- (2)頒価 1,000円
- (3)問い合わせ先  
 (財)富山県文化振興財団(県民会館内) ☎0764(32)3111)又は、県庁文化課(☎0764(31)4111内線288)

## ● Gondrasスキー場オープン

本格的な冬を迎え、待ちに待ったスキーシーズンの到来です。県営Gondrasスキー場では、カラフルなゴンドラリフト、県内唯一のパラレルリフト、夜はカラーナイター設備が、あなたを呼んでいます。スキー場開きは、立山山麓三スキー場そろって12月15日(土)オープン、22日(土)はリフト無料開放となりますので、皆さんごぞっておいください。

## ●昭和59年度県統計グラフコンクール入選作品決定

- (1)第1部(小学生1~3年)  
 知事賞 山下智子(西田地方小2年)、教育長賞 西田志門(西田地方小2年)、統計協会賞 般林香織(庄東小3年)、貝湖陽子(庄東小3年)、統計教育研究会賞 中村英達(堀川南小3年)他佳作5点
- (2)第2部(小学生4~6年)  
 知事賞 島田乃里江(庄東小6年)、教育長賞 吉田政貴(庄東小5年)、統計協会賞 川合優美(庄東小4年)、宮崎隆則 湯尾雅紀(庄東小6年)、統計教育研究会賞 今井妙子 今井祐一(鷹栖小6年)他佳作5点
- (3)第3部(中学生)  
 知事賞 佐野友美 玉井晴美(新湊南部中3年)、教育長賞 古田真知子 川原伊希子(庄西中1年)、統計協会賞 涼素代 金原ゆかり 石黒浩代(新湊南部中2年)、高畑弘樹 飛田俊雄(庄西中1年)、統計教育研究会賞 山本啓子 五十嵐恵美(小杉南中3年)他佳作5点
- (4)第4部(高校・大学生)  
 知事賞 長田洋子(高岡工芸高2年)、教育長賞 澤井晶子(高岡工芸高2年)、統計協会賞 村中美和(高岡工芸高2年)、稲垣芳則(高岡工芸高2年)、統計教育研究会賞 田中美奈子(高岡工芸高2年)他佳作4点

# 人権週間

12月4日~10日



## 12月街頭献血日程

月日曜	場 所	時 間	月日曜	場 所	時 間
12/1(土)	富山駅前	10:00~16:00	12/15(土)	高岡駅前	10:00~15:30
1(日)	高岡駅前	10:00~15:30	15(土)	魚津市サンプラザ前	10:00~15:30
2(日)	黒部市メルシー前	10:00~15:30	16(日)	富山市中央通り前	10:00~16:00
4(火)	立山町役場前	10:00~15:30	22(土)	富山駅前	10:00~16:00
8(土)	富山駅前	10:00~16:00	23(日)	高岡駅前	10:00~15:30
8(土)	高岡駅前	10:00~15:30	28(金)	富山駅前	10:00~16:00
9(日)	富山西武前	10:00~16:00	30(日)	富山駅前	10:00~16:00

## 県政についてのご相談は県民相談室へ

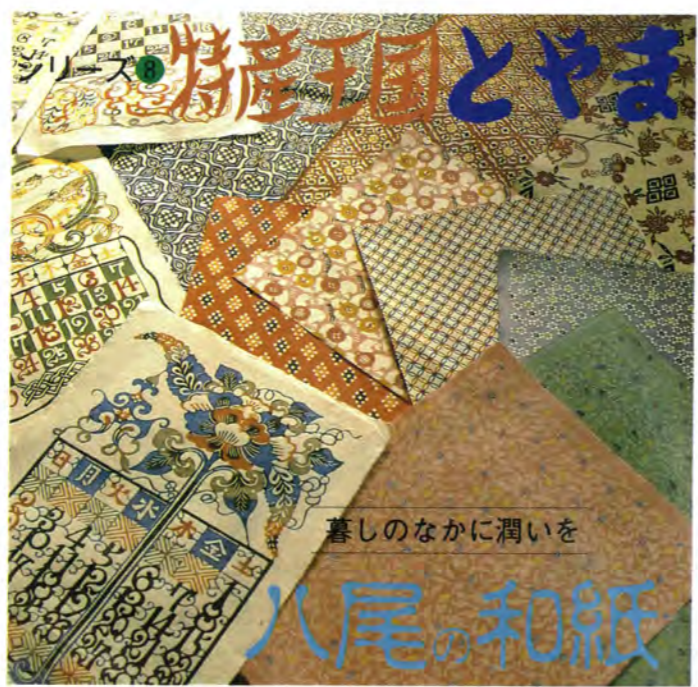
県民相談室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎富山31-4111(代) 31-3131(県民電話)
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎高岡21-9411
魚津地方県民相談室	魚津新宿10-7(総合庁舎内) ☎魚津24-5311
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎砺波33-5151

## 県広報はあなたと県を結ぶパイプ役

富山県では、この「県広報とやま」のほかテレビ、新聞などの媒体を活用して、県の施策の紹介や暮らしの情報を提供しています。

〈テレビ広報〉  
 KNB「こんにちは富山県です」  
 毎週日曜日 午前8時~8時30分  
 富山テレビ「110万人のひろば  
 —クイズ/フォーカスイン—」  
 毎週日曜日 午前9時~9時30分

〈新聞広報〉  
 ○北日本、富山、読売、北陸中日  
 毎月第2土曜日「県からのお知らせ」  
 毎月最終土曜日「みんなの県政」  
 ○朝日、毎日  
 毎月第2、最終土曜日「県からのお知らせ」



越中売葉の手によって、文化や情報載せて全国に流布された八尾の和紙——その歴史は古く、天平年間(八世紀)に遡ります。先進地美濃から飛騨を経て伝えられた紙漉きの技術は、八尾独特の美しい楮紙を生み出しました。

日常生活に使われる紙類が大量に作られるようになりました。最盛期には、八尾の谷という谷には楮が植えられ、「八尾一千軒全ての家」で紙が漉かれていたといえます。しかし近代、和紙の需要はパルプ紙の登場によって減少し、紙漉きも次第に衰退していきま

生(の)道(を)示(し)た(の)は、人間国宝故芹沢銈介氏(紅型染)でした。四十年前余前、布にかわる型染紙を求めていた氏は、昔ながらの手法を守ってきた八尾の楮紙に自然児のような健康さを発見したので。水に強く破れにくいこの紙は、微妙に染料を浸透させてくれます。

芹沢氏は、型染用和紙として最高の品質といわれるこの紙をこよなく愛し続けました。そして氏の指導によって、八尾に型染模様紙が生まれたのです。

模様紙とその加工品は高い評価を受け、「八尾の和紙」の名は全国に広められました。

## 模様紙のできるまで



▲紙漉き

▲型紙を使つてのりをつけます

▲水洗いして

▲色づけ

▲出来あがり



# 「心のとやま」をテーマに 写真と詩を、募集。



とやまの色は、何色だろう……………。  
とやまの心は、どんなだろう。

富山県では、県民のみなさんに富山県のよさを再発見していただくためのユニークな写真集を制作します。これは、ふるさと富山を県民みんなで見つめ、感じ、新たな魅力を創りあげようとするものです。ふるさと富山をとらえた心にしみる写真、または詩・エッセイ・短歌などを次のとおり募集します。

## 写真の部

- **題 材** 富山のよさをイメージしたものなら、なんでも結構です。〈例〉自然、四季、動・植物、人、祭、味、郷土料理、伝統工芸、美術、信仰、スポーツ、産業、建築物など
- **応募資格** プロ・アマを問いません。
- **応募作品** 昭和56年1月1日以後に撮影されたもので、既発表・未発表、単写真・組写真を問いませんが本人に著作権が帰属するものに限ります。  
〈モノクロ〉4切  
〈カラー〉原則としてカラーライド  
(ただし、ネガカラーの場合は4切カラープリント)
- **応募方法** 応募にあたっては、応募票(※)に画題、撮影場所、撮影年月日、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、未発表・既発表の別、返却希望の有無を記入のうえ、お送りください。
- **その他** 採用作品には、1万円の使用料をお支払いします。  
後日、応募作品の展示会を開催する予定です。

※応募票は、県広報課または近くのカメラ店に用意してあります。お問い合わせください。

■締め切り／昭和60年1月31日(木)当日消印有効

■送り先・お問い合わせ／富山県知事公室広報課

〒930 富山市新総曲輪1-7 ☎(0764)31-4111(内線328)

## 詩(エッセイ等)の部

- **作 品** 富山のよさや富山の心を伝える詩・エッセイ・作文・俳句・短歌、キャッチフレーズ等、なんでも結構です。
- **字 数** 400字以内
- **応募方法** 応募にあたっては、題名・住所・氏名・年齢・職業・電話番号・未発表・既発表の別を記入のうえ、お送りください。
- **その他** 採用作品には、薄謝をお渡します。  
写真集の構成上、部分的に採用させていただく場合もあります。

